



高松凌雲 生誕175年祭

今年は、赤十字の先駆者・高松凌雲が、小郡市古飯の地に生まれて175年にあたります。そこで「高松凌雲生誕175年祭実行委員会」を立ち上げ、凌雲の遺徳を顕彰するため、次の催しを行い生誕175年を祝います。



▲神田紅さん

福岡県出身。小郡市で開催された大原合戦650周年記念祭では「大原合戦」の創作講談を語るなど「福岡スピリッツ」を全国に発信している。

記念式典

- ◆日時 11月6日(日)/午後3時～3時40分
- ◆会場 小郡市生涯学習センター セタホール

記念講談「高松凌雲の志」

- ◆日時 11月6日(日)/
開場：午後3時30分 開演：午後4時～6時10分
- ◆会場 小郡市文化会館 大ホール
- ◆内容 ◇神田紅(女流講談師)「高松凌雲」を語る
◇前座：長谷川敬二(紅講談教室)による「大高源五」(赤穂義士伝より)
- ◆入場料 1,000円(全席自由)
- ◆前売券発売所 文化会館、市役所売店、あすてらす、各校区公民館、のぞみがおか生楽館、小郡交流センター
- *****
- ◆主催 高松凌雲生誕175年祭実行委員会
- ◆後援 小郡市、小郡市議会、小郡市教育委員会、西日本新聞社
- ◆問い合わせ先 高松凌雲生誕175年祭実行委員会事務局
(森 ☎090-8626-4975、長谷川 ☎090-4995-7174)

消費生活相談室

その修理、本当に必要？トイレの修理トラブル

水回りの故障はつい慌ててしまいがちです。それに乘じて unnecessaryな部品交換などを勧められ高額の料金を請求されたという相談が多く寄せられ、国民生活センターが注意を呼び掛けています。

事例

トイレのタンクから水が漏れていたのので、投げ込み広告の業者に電話をして修理を頼んだ。業者の男性がタンクのふたを開けたとたん「タンクと便器を新しいものに交換しなければまずい」と言ったのでパニックになった。28万円と言われ、高すぎると思うと6万円値引いてくれたが「今決めなければこの値段にならない」と迫られ契約してしまった。その場で業者が持っていた便器が取り付けられたが、渡された取扱説明書と設置された便器は違う型のものでサイズも小さかった。不信感が募り、便器メーカーに電話で確認したら「タンクから水漏れしても便器交換までは必要ない」と言われた。(70歳代 女性)

ひとこと助言

- ・作業前に原因や作業内容、費用の十分な説明を求め、納得がいかない場合はすぐに契約せず、まずは応急処置を頼みましょう。
- ・いきなり便器を外してしまい交換を迫ったり、説明なしで作業した後、威圧的な態度で高額な料金を請求してきたりする強引なケースもあります。

小郡市消費生活相談室

- ▶窓口開設日
毎週月・火・木・金曜日
/午前9時～正午、午後1時～4時
- ▶問い合わせ先
小郡市消費生活相談室
☎72-2111内線144

